

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2016年1月28日～2016年2月3日)

平成 28 年(2016 年)2 月 5 日

H E A D L I N E S

## 政治

ドゥダ大統領, グラバル=キタロビッチ・クロアチア大統領と会談  
 マチェレヴィチ国防相, ドイツを訪問  
 ヴァシチコフスキ外相による2016年外交方針演説  
 シドウウォ首相, ノルウェーを訪問  
 シドウウォ首相, フランスを訪問  
 ヴァシチコフスキ外相, ハンガリーを訪問

## 経済

2016年予算案が下院通過  
 政策金利は据え置き  
 LOTのCEOが交代  
 ポーランドのリース市場は16.3%拡大  
 1月の新車登録台数は前年比増  
 外国企業に対する高等教育・科学大臣の発言  
 最高監査院:クリーンコール技術に対する政府の支援は効率的ではない  
 コンパニア・ヴェングロヴァ社再建に向けた動き

## 大使館からのお知らせ

ヴロツワフにおける領事出張サービスについて  
 パスポートダウンロード申請書のご案内について  
 年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ  
 ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起  
 大使館広報文化センターの開館時間について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館  
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696  
 5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先:大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

**政 治**  
外交・安全保障

**ドゥダ大統領、グラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領と会談【1月28日】**

1月28日、ドゥダ大統領は、ポーランドを訪問中のグラバル＝キタロビッチ・クロアチア大統領と会談を行い、主に二国間経済関係、移民問題及びNATOワルシャワ首脳会合につき意見交換した。ドゥダ大統領は、会談後に、両国は移民問題において近い立場を有している、移民危機の原因である紛争を解決することが最も重要である旨述べた。

**マチェレヴィチ国防相、ドイツを訪問【1月28日】**

1月28日、マチェレヴィチ国防相はドイツを訪問し、フォン・デア・ライエン国防相と会談し、主に二国間軍事協力、NATOワルシャワ首脳会合、東方情勢につき意見交換した。マチェレヴィチ国防相は、会談後に、両国はロシアの攻撃的な政策が欧州の平和に対する最大の課題であるとの認識を共有した、NATOワルシャワ首脳会合ではこの課題に対応する決定的な一歩を示す必要がある旨述べた。

**ヴァシチコフスキ外相による2016年外交方針演説【1月29日】**

1月29日、ヴァシチコフスキ外相は、下院にて2016年外交方針演説を行った。同演説において、同外相は、ポーランドが安全保障上の危機、欧州の隣国の危機、欧州の計画に関する危機の3つの大きな危機に直面しているとの現状認識を示した上で、NATOの安全保障基盤としての重要性、ロシアとの現実的且つ実質的な関係構築の必要性、EUが自由な国民と対等な国家による連合になるべきとのビジョン等を示した。なお同外相は、日本につき、政治的に近い強力なパートナー国、ウクライナ支援における

協力国、経済関係を強化すべき戦略的パートナーとして言及した。

**シドゥウォ首相、ノルウェーを訪問【2月2日】**

2日、シドゥウォ首相はノルウェーを訪問し、ソールベルク首相と会談し、主にエネルギー安全保障、移民問題、ノルウェー在住のポーランド人の状況につき意見交換した。シドゥウォ首相は、会談後に、ポーランドはエネルギー源の多様化の問題を真剣に考えており、ポーランド政府はノルウェーからポーランドへのガス・パイプライン計画を支持している旨述べた。

**シドゥウォ首相、フランスを訪問【2月3日】**

3日、シドゥウォ首相はフランスを訪問し、オランド大統領と会談し、主に二国間経済関係、NATOワルシャワ首脳会合を含む安全保障・防衛議題、移民問題及び英国のEU改革案につき意見交換した。シドゥウォ首相は、会談後に、フランスはポーランドの戦略的な経済パートナーであり、協力を深化させたい、また両国の防衛産業間の協力も発展させたい旨述べた。

**ヴァシチコフスキ外相、ハンガリーを訪問【2月3日】**

3日、ヴァシチコフスキ外相はハンガリーを訪問し、シーヤールトー外務貿易相と会談し、主に二国間関係、V4協力、地域・欧州情勢につき意見交換した。両外相は、会談後に、両国は二国間関係、地域・欧州情勢のほぼ全てに関して同じ立場を有している旨述べた。また、両外相は、英国のEU改革案に関し、(二国間首脳会談が行われる)8日に両国が共通の立場を発表する旨述べた。

**経 済**

経済・財政政策

**2016年予算案が下院通過【1月31日】**

2016年予算案は29日から30日にかけて下院を通過、これから上院で審査される。予算規模は約3,

000億ズロチで547ズロチの財政赤字が見込まれている。

マクロ経済動向・統計

**政策金利は据え置き【2月3日】**

ポーランド中央銀行金融政策委員会は、全ての金利を維持する旨3日に発表。2015年3月に1.5%に下がった政策金利は据え置かれることになる。中

央銀行発表のステートメントによれば、国内需要、投資増、良好な労働市場に支えられたポーランド経済の維持には現在の金利で十分との判断。

ポーランド産業動向

**LOTのCEOが交代【1月29日】**

28日付けポーランド航空(LOT)プレスリリースによれば、同日付でラファウ・ミルチャルスキ(Mr. Rafat Milczarski)氏が新CEOに任命。ミルチャルスキ氏はケンブリッジ大学経済学部出身でスイスUBS、英JPモルガン社、英フォスターヨーマン社(鉄道)等で勤務の経験があり、ポーランド発の私鉄会社バルティック・レイルの立ち上げにも携わった経歴がある。なお2月4日の報道ではミコシュ元CEOはインターネット航空券販売等を扱うeSKY社の社長に就任したとのこと。

**ポーランドのリース市場は16.3%拡大(2015年)【1月29日】**

ポーランドリース産業協会(ZPL)の発表によれば、2015年の国内リース市場は前年を16.3%上回る498億ズロチの規模となった。同協会は、2015年はさらに拡大するだろうと見込んでいる。内訳では、

動産が97.1%とほとんどを占めている。

**1月の新車登録台数は前年比増【2月4日】**

自動車産業調査会社Samarによると、2016年1月の新車(乗用車及び商用車)登録台数は前年同月比8.8%増の35,800台になった。前月比では、18.1%下落したという。

**外国企業に対する高等教育・科学大臣の発言【2月4日】**

ゴヴィン科学・高等教育大臣は、米国商工会議所と会談を行った。同大臣は、同会談を評価しつつ、現在の政府は外国企業の投資を必要とする一方、国内企業の保護に力を置いており、ポーランドへの外国投資家たちはもはや特別な立場で扱われるのではなく、ポーランド企業と公正かつ公平なルールの下で競争する立場にあることに気づくべきである、と述べた。

**エネルギー・環境****最高監査院:クリーンコール技術に対する政府の支援は効率的ではない【2月2日】**

最高監査院(NIK)は、(旧)経済省におけるクリーンコール技術への支援が効率的に行われていない指摘している。2010年から2015年にかけて、効果的な計画と研究・投資の監視を行っていなかったとし、特に石炭ガス化において不十分であり、炭鉱部門や化学部門との密接な政策面での協調が不足しているとも指摘している。また、商業規模での石炭のガス化は2030年頃になるだろうとも述べているほか、研究機関に支出された資金が十分に運用されておらず、銀行口座に眠っているとも指摘した。

**コンパニア・ヴェングロヴァ社再建に向けた動き【2月****2日】**

トビショフスキ・エネルギー副大臣は、コンパニア・ヴェングロヴァ社(KW)の労働組合に対し、給料の引き下げ若しくは不採算の4鉱山の閉鎖を盛り込んだ再建案を提案した。炭鉱労働者に対する月次の給与を除く手当の削減に応じない場合、現在11ある炭鉱のうち新会社(PGG)へは7炭鉱のみが新会社へと移行するという内容。

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、KW救済に関し、新会社PGGの目標は損失をなくし労働効率を向上させることであり、KWの負債はPGGに引き継がれるものの、2018年以降に利益を出すことになるだろうと述べた。

**大使館からのお知らせ****ヴロツワフにおける領事出張サービスについて**

大使館は、3月15日(水)15時から19時までの間、HOTEL Mercure Wroclaw Centrum内、会議室(pl. Dominikanski 1, Wroclaw 50-159)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは以下をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/wroclaw.shucchou2016.pdf>

**パスポートダウンロード申請書のご案内**

来年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されます。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

**年末年始に海外に渡航・滞在される方の安全対策のためのお知らせ**

当館ホームページにおきまして、テロ・感染症・麻薬犯罪等対策と「たびレジ」による緊急連絡先登録のお願い」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C361>

### **ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起**

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

### **大使館広報文化センター開館時間**

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，Eメール：info-cul@wr.mofa.go.jp、

住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成28年3月31日までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

## 文化行事・大使館関連行事

### **〔開催中〕展覧会：「俳優、人形、影。中国と日本の演劇」【9月30日(水)～3月13日(日)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、日本の演劇に関する展覧会が開催中です。能面、服装、小道具、楽器などが展示されています。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/50>

### **〔開催中〕原貴之氏による個展：「Before we fall again」【1月15日(金)～3月16日(水)】**

クラクフ市の日本美術技術博物館 Manggha にて、繊細なドローイングで定評のあるアーティスト原貴之氏による個展：「Before we fall again」が開催中です。

開催場所：マウオポルスカ県、クラクフ市、日本美術技術博物館、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/en/exhibition/59>

### **〔予定〕日本人アーティストによるチャリティーピアノコンサート【2月8日(月)17:30～】**

ワルシャワ市にて、ポーランド市民交流友の会主催によるショパン音楽大学ピアノセミナー修了コンサートが開催されます。入場は無料です。

開催場所：ワルシャワ市、I Zbor Kosciola Chrzescijan Baptystow, ul. Walicow 25

### **〔予定〕水曜映画上映会「ALWAYS 続・三丁目の夕日」【2月17日(水)17:30～】**

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「ALWAYS 続・三丁目の夕日」が開催されます（日本語音声、英語字幕）。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00，Eメール：

info-cul@wr.mofa.go.jp、住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。  
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)